

02 特集

祝 創立100周年!

中村孝義理事長

武藤好男学長よりごあいさつ

04 Daion Topics

文化庁芸術祭大賞受賞!

大阪国際フェスティバル オペラ「ランスへの旅」

全日本吹奏楽コンクール課題曲に卒業生の作品

06 2016年度スタート

ミュージック クリエーション専攻

ミュージック コミュニケーション専攻

A号館が
完成したのは
1965年なん
だって!

詳しくは
P15を
見てね

「ON-AR」

スマホで動画が見れる!?

CONTENTS

10 Concert Report

・定期演奏会
・邦楽演奏会 他

11 NEWS Index

・大音生なら必ず聴
きたい「100曲」
中村孝義(音楽学・
理事長)
・退任教員挨拶

13 キラリ★輝く

大音の星
・コンクール受賞
・NEWリリース

14 CAMPUS

Information

15 演奏会

Information
3月～6月

16 ・下手の考え

休むに似たり
～学長日記～
・教員リレー
エッセイ
藤井 司朗
(ジャズ・講師)

創立100周年によせて

大阪音楽大学は2015年、創立100周年を迎えました。

ともに過ごした在学生・卒業生の皆さまと、関わっていただいたすべての皆さまへ

100年分の感謝の気持ちを込めて理事長・中村孝義と学長・武藤好男よりメッセージをお届けします。

創立者・永井幸次の大志の継承と未来への投資

いよいよ大阪音楽大学創立100周年の年がめぐってきました。肅々と記念事業を進めてきたこの4年の間にも、本学は改めて、人間にとつて音楽がいかにかけがえのないものであるか、それを担うことがいかに大きな意味を持つかを社会に示してきました。例えば記念事業の核としてきたオペラハウスの公演では、2つの公演が文化庁芸術祭において芸術祭大賞を受賞し、さらにもう1つの公演が三菱UFJ信託音楽賞を受賞するなど、われわれの熱意や努力は、日本全国の他のどこもがまねできないほどの大きな評価を、各方面からいただく結果となりました。これも卒業生や教職員をはじめ、関係する人々すべての、音楽に対する愛や情熱が大きく実を結んだのです。またこの4月には、本学は初めて伝統ある大

阪国際フェスティバルの舞台にも立ちます。《新音楽》《新歌劇》の発生地を目指してためまぬ努力を続けようという創立者・永井幸次先生の大志こそ、まさに大阪音楽大学に帰属するものすべてに受け継がれてきた精神であり、誇りなのです。

ところで大阪音楽大学では、2016年より二つの専攻を新たに立ち上げることにしました。これまで注力してきた実演家の育成に加えて、時代や社会が求める音楽創造に対応する有用な人材を送り出す「ミュージッククリエイション専攻」と、音楽と社会をつなぎ、豊かな文化社会を創造し推進する有為な人材を育てる「ミュージックコミュニケーション専攻」です。これによって本学は、これからも日本社会における音楽文化の充実した担い手を送り出す

重要な拠点として、関西唯一の音楽大学である責任を果たすとともに、音楽文化の未来を見据え、未来を生かす積極的な投資を行っていきたいと考えています。本学が、地元や関西の音楽文化の推進に貢献する「音楽メディアセンター」(仮称)を含む新音楽棟建設に着手するのも、もちろん積極的な「未来への投資」にはかきません。

大阪音楽大学に帰属するものすべてが、100周年を期して改めて自分たちの行為の意味を考え、一つ一つの行為を充実させ、それが確実に本学の未来や、文化のあふれる人間的な社会形成への投資になるのだという自負を持って、各自の仕事に励んでいこうと考えています。今後とも、何とぞご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



理事長

中村 孝義

2015年度 創立100周年記念演奏会

第53回 大阪国際フェスティバル2015 ロッシーニ作曲オペラ「ランスへの旅」

2015年4月18日(土)15:00開演
フェスティバルホール
指揮:アルベルト・ゼッダ
演出:松本 重孝
キャスト:老田 裕子、ターチャ・ジブラッゼ、
イサベル・ガウディ、石橋 栄実、中川 正崇、
アントン・ロシツキー、クラウディオ・レヴァン
ティエーノ、伊藤 貴之、三浦 克次、木村
孝夫、西村 圭市 ほか
管弦楽:ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

大阪音楽大学創立 100周年記念特別演奏会 L.v. ベートーヴェン:交響曲第9番 ニ短調作品125「合唱付き」

2015年10月15日(木)17:30開演
フェスティバルホール
指揮:西本 智実
独唱:石橋 栄実(ソプラノ)、竹本 節子(ア
ルト)、望月 哲也(テノール)、田中 勉(バリ
トン)
合唱:大阪音楽大学創立100周年記念合唱団
管弦楽:大阪音楽大学創立100周年記念管
弦楽団

創立100周年記念オペラ G.ヴェルディ:歌劇「ファルスタッフ」

2015年10月30日(金)18:00開演、
11月1日(日)14:00開演
ザ・カレッジ・オペラハウス
指揮:下野 竜也
演出:岩田 達宗
合唱:ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団
管弦楽:ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

大阪音楽大学 第58回定期演奏会

2015年12月6日(日)15:00開演
ザ・カレッジ・オペラハウス

ポピュラー特別演奏会

2016年1月31日(日)18:30開演
サンケイホールブリーゼ

第27回 大阪音楽大学学生オペラ

2016年2月20日(土)18:00開演、
2月21日(日)14:00開演
ザ・カレッジ・オペラハウス



中村理事長、
武藤学長から
の挨拶ほか懐
かしい映像を
スマホで見よ
う! 詳しくは
P15をご覧ください。

▲永井幸次学長胸像除幕式で挨拶をする
創立者・永井幸次(1958年)

伝統は大切に、しかし伝統に縛られず

1915年10月15日、永井幸次校長のもと、大阪市南区塩町に大阪音楽学校が開校してから100年、今年は永井幸次先生の没後50年でもあります。

大阪音楽大学が、こうして創立100周年を迎えられるのも、これまで本学を支えてきてくださった多くの卒業生・教職員をはじめ、音楽を愛し、伝え、学び、教えたという多くの人々のたゆまない熱意があったからこそ、そして、その熱意は在学生にも脈々と受け継がれています。

戦争の世紀ともいわれる20世紀、1915年と言えば第一次世界大戦

のさなか、人類は初めて多数の国々を巻き込んだ悲惨な総力戦を経験します。そして1989年、冷戦が終結した時、多くの人々は戦争のない、明るい未来を垣間見ました。しかし、人間の御し

難い闘争本能は止まるところを知らないことは、昨今の泥沼のような世界情勢を見ても明らかです。しかし同じ人間が素晴らしい文化を築きあげてきたことも事実です。私たち音楽文化に携わる者はこの人類の文化を守り育てることにより、人々のコミュニケーションを促進し、文化の差異を越えて平和な世界の実現に少しでも貢献すること

が求められています。

大阪音楽大学は「世界音楽並ニ音楽ニ関連セル諸般ノ芸術ハ之ノ学校ニヨッテ統一サレ新音楽新歌劇ノ発生地タランコトラ祈願スルモノナリ」という建学の精神に盛り込まれた創立者の理想の実現に向かって今後も努力を続けていきます。音楽という、影も形もないものが私たちの心を豊かにしてくれるという不思議な現象に感動した体験を一人でも多くの人に伝えたい、という初心を忘れず、伝統に縛られない新たな展開を目指します。

学長

武藤 好男





20世紀オペラ・シリーズ 「鬼娘恋首引」カーリユー・リヴァー 平成26年度文化庁芸術祭大賞を受賞！

昨年ザ・カレッジ・オペラハウスで開催したオペラ公演「鬼娘恋首引」カーリユー・リヴァー」が「文化庁芸術祭 芸術祭大賞」を受賞しました。「狂言と能を題材にした喜劇と悲劇の上演は、両者の見事なバランスと極めて上質な演奏で聴衆に深い感銘を与えた」ことが受賞の理由として挙げられ、キャスト、指揮、演出などすべてが高く評価されました。ザ・カレッジ・オペラハウスのオペラ公演は「沈黙」(2005年)「ねじの回転」(2011年)でも芸術祭大賞を受賞。また「ピーター・グライムズ」(2013年)が「三菱UFJ 信託音楽賞」を受賞するなど、ほかに類例のない大きな成果を収めています。



▲1月23日にリーガロイヤルホテルで行われた文化庁芸術祭贈呈式にて、青柳正規文化庁長官(左)と中村孝義理事長

文化庁芸術祭賞

広く一般に優れた芸術の鑑賞の機会を提供するとともに、芸術の創造とその発展を図り、もって我が国芸術文化の振興に資することを目的として1946年より毎年秋に開催される芸術の祭典。芸術祭に参加した公演・作品の中から成果に応じて文部科学大臣賞(芸術祭大賞、芸術祭優秀賞、芸術祭新人賞)が贈られる。



▲「鬼娘恋首引」(2014年)



▲「カーリユー・リヴァー」(2014年)



▲「ピーター・グライムズ」(2013年)



▲「ねじの回転」(2011年)



▲「沈黙」(2005年)



▲ザ・カレッジ・オペラハウスで行われた「ザ・カレッジ・オペラハウス」の指揮。ゼツダ氏の指揮にキャスト・スタッフも熱が入ります



大阪国際フェスティバルは、フェスティバルホールが開館した1958年以来、毎年春に開催されている音楽祭。今年はイタリアオペラの大作曲家G.ロッシニ二作曲のオペラ「ランスへの旅」が上演されますが、大阪音楽大学創立100周年を記念して大阪音楽大学が大阪国際フェスティバルに初登場します。指揮は

「ロッシニ二の神様」と世界中の音楽家たちに敬愛され、ペーザロのロッシニ二オペラ・フェスティバル芸術監督も務めるアルベルト・ゼツダ氏。キャストや合唱団には在学生、卒業生、教員が多数出演、演奏はザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団。大阪音楽大学の力を結集したオペラ公演にぜひご注目ください。

TOPICS
大阪国際フェスティバル
オペラ「ランスへの旅」
ロッシニ二最高の祝典的オペラを
アルベルト・ゼツダ指揮で

TOPICS

2015年度 全日本吹奏楽コンクール 卒業生の朴守賢さんの作品が課題曲に

2015年度に行われる第63回全日本吹奏楽コンクールの課題曲に、第7回全日本吹奏楽連盟作曲コンクール第1位を受賞した朴守賢さん(00年短大卒)の作品「暁闇(あかつきやみ)の宴」が選ばれました。全日本吹奏楽連盟作曲コンクールは、全日本吹奏楽連盟70周年を記念して09年より創設されたもので、毎年第1位作品を「課題曲V」として設定しています。

「タイトルの『暁闇』は夜明け前を意味します。真つ暗な闇と微かににじみ始める光が織りなす始めるグラデーションは、生命や時間の美しさを感じさせます。そのような美しさが私の創作の

テーマ。生命を謳歌するイメージを、『宴』の言葉に託した、このタイトルは作曲後に生まれました。技術的な難易度は高いですが、音楽の流れと深みを感じさせる生命感のある演奏を期待します」(朴守賢)。

大阪音楽大学ではこれまで高昌帥さん(93年大卒・本学准教授)の「吹奏楽のためのラメント」(02年・朝日作曲賞受賞作品)、松浦伸吾さん(04年院修)の「マーチ「ベスト・フレンド」」(03年)、合田佳代子さん(95年院修)の「斎太郎節」の主題による幻想(14年)といった卒業生の作品が全日本吹奏楽コンクールの課題曲に採用されています。



▲朴 守賢さん



▲合田 佳代子さん



▲松浦 伸吾さん



▲高 昌帥 准教授



▲昨年、本学で行った「吹奏楽フェスティバル」では作曲者の合田佳代子さんが自ら解説。今年は朴守賢さんが「暁闇の宴」を解説します

Information

第53回大阪国際フェスティバル2015

ロッシーニ作曲オペラ「ランスへの旅」(原語上演・日本語字幕付)

●指揮:アルベルト・ゼッダ 演出:松本 重孝

●公演日

4月18日(土)15:00開演(14:00開場)

●入場料

S席18000円/A席16000円/B席14000円/C席12000円/D席10000円/E席8000円/BOX席23000円/バルコニーBOX席(2席セット)36000円/学生席4000円(限定50席/25歳以下)

●会場

フェスティバルホール
大阪市北区中之島2-3-18
京阪中之島線「渡辺橋」駅、地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅より直結

●お問い合わせ

フェスティバルホール06-6231-2221(10:00~18:00)
詳しくはフェスティバルホールHPをご覧ください。



素晴らしい機会に感謝

1月に本学で行われた記者会見で話すアルベルト・ゼッダ氏。「『ランスへの旅』は観る人のイマジネーションをかきたてるような最もロッシーニ的なオペラ。観客も積極的に参加する意識で観ていただくとその魅力をわかっていただけたと思います。今回、このような素晴らしい機会をいただき、大変感謝しています」(アルベルト・ゼッダ)。

クリエイション専攻誕生

世界を創造する

——独自のカリキュラムが非常に特徴的な「ミュージッククリエイション専攻」ですが、ご担当の授業内容を具体的に教えてください。

渡邊 映画音楽を書けるようになるための『フィルム・スコアリング』という科目を設けています。映像に対して音楽でどうアプローチしていくか。私自身の経験をふまえて学生に伝えていきたい。具体的には4年間で実際に映画を作り、全体の流れを把握した上での音楽の組み立て方を研究します。また『コンピュータ・ミュージック演習』では音楽作りには欠かせない音楽ソフトの「使い方」のみならず、

**ビジネスに直結した音楽制作を
実践で学べる**

ミュージッククリエイション専攻では、第一線で活躍する音楽人がその経験の色濃く反映したカリキュラムを作成。映画、CM、ポピュラーミュージック、ゲームなどの現場に即した音楽制作を実践的に学び、卒業後も商業音楽の担い手としてビジネスの現場で活躍できる人材の輩出を目指しています。指導陣5人が顔を突き合わせ、新専攻の魅力を語ります。

効果的な「打ち込みテクニック」や「グルーヴ感の出し方」など、より実践的な内容にしたいと思っています。最終的には「音楽的にどう響くか」というところまで踏み込みたい。

徳永 ヴォーカル曲、いわゆる「歌もの」を作曲する力をつけてもらいたいと開設したのが『ポピュラーソングコンポジション』。歌ものといってもロックからR&B、ポップス、ダンスミュージックなどジャンルは多様にありますが、世界中のさまざまな歌を吸収し、最終的にはその歌い手に合った楽曲をプロデュースできるような「歌もの作家」を育てたいですね。

足立 ビジネスに直結したところにある音楽の一つにCMがあります。『ショートコンテンツ実践』では、例えばテレビ

渡邊 崇

Takashi Watanabe

2006年大阪音楽大学短期大学部音楽学科作曲専攻卒業。映画「舟を編む」で日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。映画、CM等の映像音楽をはじめ、室内楽コンサート用に楽曲を書き下ろすなど幅広い活動が続けている。最新作は石井裕也監督映画「パンクバーの朝日」。2016年度より特任准教授として就任予定。



CMのように15秒、30秒、60秒など短い時間の中で商品を紹介する場合に使用する効果的な音楽の作り方を学びます。いかに音楽の力で商品の魅力を伝えることができるかを追求。CMプロジェクトに合うジャンル、楽器、プレイヤーを「いかに選びとり、組み合わせるか」という技術を磨き、的確に導き出せるようになるためのトレーニングを積むことを主体とします。

森本 『ベーシック・コンポジション』ではクラシック音楽を通して楽曲全体の構成員を把握できる能力を身に付けます。伝統的なクラシックの和声スタイル、時代性を理解した上で、メロディとハーモニーの関係性を学ぶなどの楽曲分析を行います。クラシカルなアイデアを持つことはどんな

徳永 暁人

Akihito Tokunaga

大学在学中より作曲家、ベーシストとして活動し、以来数多くのアーティストの作品やライブに参加。3ピースヴォーカルバンド「doa」ではヴォーカル&ベースのみならず、プログラミング、ピアノ、オルガン、ギター、マンドリン、パーカッションなども担当。2016年度より特任准教授として就任予定。



ジャンルの音楽を作る上でも必ず役に立ちます。

木村 クラシックを取り上げる理由は、テレビやラジオで流れる音楽はもともとクラシックのセオリーが核となっている場合が多いということ。基本となるクラシックの基礎を学ぶことによって商業音楽の制作に直接生きてくるだろうと考えるからです。

**ホンモノに触れて
そのオーラや
パッションを感じる**

——「ミュージッククリエイション専攻」の特徴的な授業として「音楽ジャンルセミナー」を設けています。こちらについてはいかがですか？

足立 「ホンモノに触れてもらいたい」というコンセプトで、実際に現役で活躍してい

足立 知謙

Tomonori Adachi

立命館大学経営学部卒。作曲家・ピアニスト。IVORY MUSIC主宰。VOLVO、SUBARU、JRなど数多くの企業のテレビCMや映像作品の楽曲を手がけるほか、ミュージカル作品「UNIVERSE」や、グランフロント大阪クリスマス演出曲など、幅広いジャンルにわたって作曲活動を展開。2016年度より特任准教授として就任予定。





▲スマホをかざすと対談の様子とメッセージを動画で見ることができます。詳しくはP15をご覧ください

3月29日(日)開催！オープンキャンパス情報●渡邊崇、徳永暁人、足立知謙によるミニトーク▼
渡邊崇 & 石井裕也(映画監督)特別対談▼特別映画上映[舟を編む](監督:石井裕也、音楽:渡邊崇)
※上映終了後は質疑応答を行います。詳しくは大学HPをご覧ください。

る方をお招きし、授業をしていただくという画期的な科目です。どんな人に来てもらいたいのですか？

徳永 プレイヤーや作曲家はもちろん、シナリオライター、映画監督、プロデューサーなどをお招きし、講義をしていただく。普段は会いたくてもなかなか会えないような人から直接話を聞くことができる、貴重な時間にしたいと思っています。

渡邊 大学で勉強して知識ばかり増えても、実際に現場の雰囲気とか本物に触れることが大切ですから。

足立 ぜひその人物のオーラやパッションを感じてもらいたいですね。

徳永 例えば「ヒップホップ」を取り上げる回には、実際にミュージシャンの方に来ていただいて、ヒップホップのルーツや聴くべきCDの紹介はもちろん、実際に1曲を作り上げるまでの過程をその場で実践してもらおうとか。自分が学生だったらそんな授業に出たかったなあ(笑)。

入学してからが勝負 生き方のセンスを 磨く4年間

—ほかに特徴はありますか？

徳永 入学時点での実力はあまり問わない。その代わり入ってからが厳しいですよ(笑)。日本の大学って入るのは難しいけど卒業するのは簡単というイメージが強い。でも「ミュージッククリエイション専攻」では入ってから

の方が重要。確実に充実した4年間が過ごせます。

渡邊 実は私自身が音楽についてほとんど何も知らない状態で大音へ入学しました。だから「入学後にいかに努力するか」の方が大切だと実感しています。作曲のアイデアはたくさん持っているのに「ピアノが弾けない」「ソルフェージュができない」という理由で音楽の道をあきらめた人をたくさん見てきたので、そんなふうにチャンスをつぶさないでほしいという願いも込めています。

木村 「プロになる」「音楽の専門家になる」という明確な目標を持っている人にぜひ入学してほしいですね。僕らもそんな学生たちに頼られるような教員でいなければと改めて決意しています。

森本 毎日がワクワクドキドキして、常に新鮮なキャンパスライフであってほしい。この刺激的な環境の中で勉強するうちに将来の生き方のきっかけが見つかると思うから。

足立 音楽のセンスだけじゃない、コミュニケーション力や企画力といった総合的なセンスを磨く学生時代になると思います。僕自身も実はもともと小学校の先生をしていて、音楽家に転身しました。これは「人生の一大事件」ですか「大どんでん返し」です(笑)。人生はどうなるかわからない。だからこそ多様な人に出会い、多くのことを感じ、総合的な解決能力や広い視野を身に付けてもらいたいと思います。卒業してもすぐに音楽家にならないのもアリ。海外を放浪する人、起業する人、映像を作る人など卒業生の将来にはさまざまな姿を想い描いています。

徳永 ロックしかやったことない人、路上でライブしている人、映画が大好きな人……。いろいろな可能性を秘めた人たちが集まってくれたら嬉しいですね。

森本 友紀

Yuki Morimoto

大阪音楽大学作曲学科卒業、同大学院修了。幅広いジャンルの作品をレパートリーとするオルガン・デュオ「Heart of notes」での演奏活動のほか、作曲家としてはミュージカル、劇音楽、新体操、ダンスなどの作曲作品を多数もつ。NYで舞踏のための委嘱作品「ひためん」を発表。大阪音楽大学講師。

木村 知之

Tomoyuki Kimura

大阪音楽大学作曲学科卒業、同大学院修了。学生の頃よりジャズを志す。ジャズプレイヤーとしての演奏活動のほか、作曲家としては演劇音楽、ミュージカル、モダンダンスなど30以上の舞台音楽を制作、CDプロデュースを手掛けている。大阪音楽大学講師。

音楽と人、音楽と地域、音楽と社会をつなぐ担い手を育てる——「新しい文化の創造を担う人材」の輩出を目指して、大阪音楽大学に新専攻が誕生。今、時代に求められているクリエイティブなプランニング力を鍛え、強く生きる力で世界に貢献できる音楽人を育てます。中心的な指導者として就任予定の久保田テツ先生と中村孝義理事長、西村理准教授の3人に語っていただきました。

久保田 テツ

Tetsu Kubota

神戸芸術工科大学芸術工学部卒業後、アートプロジェクトのメセナ事業運営に携わる。2005年度より大阪大学コミュニケーションデザイン・センター（CSCD）教員。映像を主としたビジュアルデザインに関する教育研究、アートを軸とした社会学連携事業などに取り組む。映像作家および音響作家としても活動中。



社会は音楽文化の担い手を求めている

——「ミュージックコミュニケーション専攻」設立の意図を教えてください。

中村 これまでの音楽大学は音楽の作り手、つまりプレイヤーを育てることを専門としてきました。もちろん、今後音楽家を送り出すことは大切な使命ですが、より広い視野を持った「音楽文化の担い手」を育てることも重要な課題だと考えています。音楽ホールやプロダクションなど、社会に音楽を広めるための仕事をしている卒業生はすでにたくさんいます。皆さん卒業して社会人になってから、自分の力でノウハウを獲得し、活躍の場を広げられてきました。

しかし今、社会は「音楽文化の担い手」を求めているのですから、大学もそうした人材を育成することに積極的でないわけにはなりません。昨今の事情に詳しい久保田先生の目から見ていかがですか？

久保田 例えば演奏会に行つて「自分は大変感動したのにお客さんがあまり入っていないくて、とても残念な思いをした。なぜお客さんは来ないのだろう。どうしたらお客さんがたくさん入るのだろう」などと思うとします。このことは、すでにそう思った人にとつての課題となり、これまでになかった「できごと」をデザインする糸口になるのです。広報のあり方を考えてもいいし、演奏曲の理解を深めるイベントでもいい。若いターゲット

トに向けたトークショーやSNSの利用など、方法はさまざまですが……音楽というフィールドにおいて課題を発見し、それを解決する方法を考えるプロセスに音楽大学が関わりながらデザイン力を育成することは、とても大きな意味があると思いますね。

豊富な科目と 賢沢な環境の中で 「クリエイティブ」な 企画力を生む

久保田 近年、学生が課題を自ら発見し、解決する能力を身につけるための教育方法として、PBL（Project Based Learning）課題解決型学習（learning）が注目を集めています。中心となる専門科目「ミュージックコミュニケーション演習」では、PBLを取り入れ、学生たちが自身が地域社会の中に課題を見つけ、その解決のために学内外で「できごと」を企画、運営します。どのような「できごと」とかというところ、

これが音楽大学の強み。周囲の学生や卒業生、教員をどんどん活用してほしいと考えていま

す。コンサートはもちろん、地域でのイベント、介護施設や小中学校、高等学校へのワークショップなど「音楽を介したコミュニケーション」があればどのような形でも構いません。全く分野の違うアーティストや先生方とコラボレーションしてもらうのもいい。多くの人々が大小さまざまな音楽の経験を持っていますし、それは世界に共通するものです。さまざまな人々が巻き込みながら、音楽と人が化学変化を起こすような「できごと」を創ってほしいです。

中村 企画ができる人間というのは演奏者や作曲者と同じくらいクリエイティブな力を必要とします。作り手だけを輩出しても音楽の社会は成り立ちません。演奏者を盛り立て、時には引つ張っているくらいの推進力が求められています。

西村 音楽を伝えるメディアについての理論や歴史を学ぶ『メディア論』『音楽ジャーナリズム』、企画した「できごと」を世に広めるための方法を学ぶ『音楽情報発信』、音楽ホー

世界をつなぐ

ミュージケーション専攻誕生



▲スマホをかざすと久保田テツ先生からのメッセージを動画で見ることができます。詳しくはP15をご覧ください

ルの運営方法を学べる『音楽ホール運営論』という科目も設けています。また「ミュージッククリエーション専攻」との共通科目で『音楽著作権法』や運営費用を学ぶ『会計学概論』などあらゆる面から音楽の「できごと」を企画、運営していくために必要な力を身につけていきます。

中村 もちろん音楽大学ならではの学びもあります。音楽産業界に就職したら、音楽の知識は絶対に必要。それを音楽大学で学ぶことに大きな意味があります。膨大な文献や豊富な資料、専門知識を持った各ジャンルの教員や各専攻の学生が常に周りにいますのでどんどん活用してください。歌や楽器の個人レッスンをオプションで受けることもできます。

中村 孝義

Takayoshi Nakamura
学校法人大阪音楽大学理事長。
音楽学専攻教授。

卒業後の可能性は無限大
「生きるために必要な力」を育てる専攻

中村 博物館や美術館は学芸員を置くことを義務づけていますが、音楽ホールにはまだそのような義務づけはされていません。しかし、水戸芸術館のように専門的なプロパーを置く先進的なホールも出てきました。将来は確実に音楽のコーディネーターが求められます。幸い、豊中市は「音楽のあふれるまち」として音楽文化を推進しています。この恵まれた環境で学べることは大きいです。新ホール（豊中市立文化芸術センター）もできる予定です。この地で学ぶメリットは無限大です。そしてそれぞれが地元へ帰り、学ん

だ経験を生かして活躍してくれることを期待しています。

西村 「ミュージックコミュニケーション専攻」で培う企画力は、あらゆる場所で応用できます。ここでは社会で「生きるために必要な力」が育まれると言えますね。レコード会社や出版社など音楽業界はもちろん、一般企業でも発揮できます。また小・中・高校で、特に高校では地域社会と連携しながら「総合的な学習の時間」でPBLを積極的に取り入れているところもあります。この専攻で学んだことは、高校での教育現場でも生きます。

久保田

先ほどのPBLの話題とも重なりますが、企画を進めるためには、具体的な技術やアイデアが必要になります。でもそれ以上に重要

西村 理

Osamu Nishimura
大阪音楽大学音楽学専攻准教授。2016年度よりミュージックコミュニケーション専攻で教鞭をとる予定。

なのは、その動機となる課題の設定です。まずは問題意識がないと企画は生まれてきません。いま自分にとって何が問題なのか、何を解決したいのか。新専攻では、企画力を培うとともに、問題や課題を見出す力も丁寧に育んでゆく予定です。また、自身の価値観を広げるためにたくさんの方と対話し、アートプロジェクトなどの先行事例にも多く参加することになるでしょう。それら学びによって得た知見はまさに「生きるために必要な力」だと言えますし、特にこれからの社会に必須のものだと考えています。

中村 ぜひ、さまざまな方に入学していただきたい。すでに社会に出て仕事をされている方も興味を持ってくださる方は多いのではないのでしょうか。大阪音楽大学で新しい風を巻き起こしてみませんか。

授業料について

個人レッスンを伴わない「ミュージックコミュニケーション専攻」は、より多くの方に挑戦していただけるよう、他専攻より授業料を安く設定しています。詳しくは大阪音楽大学HPをご覧ください。

3月29日(日)開催！オープンキャンパス情報●久保田テツ、小池卓（スペシャルゲスト、プロデューサー）西村理によるトーク&ディスカッション：「音楽のちから／社会とつながる音楽の形」詳しくは大学HPをご覧ください。

101年目の新専攻誕生特集

2016年度
スタート

ミュージックコ

音楽をつくる



「ON-AR」

2014年12月5日(金)ザ・シンフォニーホール

大阪音楽大学 第57回 定期演奏会

指揮は小田野宏之特任教授。ロ＝ティボー国際コンクールで1位を受賞、現在新進気鋭のピアニストとして活躍中の、大学院2年に在学する田村響さんがソリストを務めたS.ラフマニノフ作曲「ピアノ協奏曲第2番」、ほかG.マーラー作曲「交響曲第1番『巨人』」など全3曲を披露しました。



▲ソリストの田村 響さん(院2)



▲指揮は小田野 宏之特任教授

2015年2月21日(土)、22日(日)ザ・カレッジ・オペラハウス

第26回 大阪音楽大学学生オペラ

W.A.モーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」

(全2幕・原語上演(イタリア語)・字幕付)

小田野宏之特任教授指揮、中村敬一客員教授演出。学生によるキャスト、合唱団、管弦楽団で行うオペラ公演。2日間にわたって行われ、多くのお客さまにお越しいただきました。



2014年11月28日(金)ミレニアムホール

第37回 邦楽演奏会

邦楽専攻・コース学生と教員による演奏会。オープニングは北海道の郷土色が描かれた宮城道雄作曲による「北海民謡調」。ラストは川崎絵都夫作曲の「竹桐Ⅱ」を総勢15名による迫力のアンサンブルで演奏しました。



「ON-AR」



2015年1月24日(土)サンケイホールブリーゼ

2014年度大阪音楽大学短期大学部

ポピュラーコース・コンサート

ポピュラー・コース学生による演奏会。恒例となったオープニングは高校生3組が演奏。第2部後半は米国ハワイ州出身の歌手ブルーノ・マーズを特集。ラストは出演者全員による迫力のコーラスで締めくくりました。



2015年1月11日(日)ザ・カレッジ・オペラハウス

2014年度大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部

電子オルガンコンサート「フライング・ライブ2015」

電子オルガン専攻・コース学生による演奏会。第1部はソロ、アンサンブル。第2部は本山秀毅教授指揮のもと、電子オルガン専攻3年生の4名による演奏と大阪音楽大学合唱団がC.オルフ作曲「カルミナ・ブラーナ」のコラボレーションを披露しました。



2015年2月14日(土)豊中市立ローズ文化ホール

2014年度 大阪音楽大学短期大学部

ダンスパフォーマンスコース 第2回 発表会

第一部は日本舞踊、第二部はクラシックバレエとモダンダンス、第三部はジャズダンスを披露。卒業生5名を含む全11名により迫力のステージを繰り広げました。また、第二部の途中には今回初の試みとなるワークショップを受講する高校生による発表も行いました。



「ON-AR」



2015年2月12日(木)ミレニアムホール

大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部 ジャズ・コンサート

第一部はコンボ。3～6名のさまざまな楽器の組み合わせで5組が演奏しました。第二部はビッグバンドによる演奏。サミー・ネスティコの作品全9曲を演奏。藤井司朗、河村直樹両教員による解説を交え、日ごろの成果を存分に発揮するステージとなりました。





イベント



お知らせ



第48回幸楽会 ニューイヤークンサートを開催

1月12日(月・祝)ザ・カレッジ・オペラハウスにて第48回幸楽会コンサートが行われました。第一部は恒例となった「ハルモニウムジーク」。オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルンがそれぞれ2本とコントラバスによる編成でW・A・モーツァルト作曲の歌劇「フィガロの結婚」を演奏しました。第二部は田中勉教授の解説を交えながら、R・シュトラウス「ばらの騎士」、G・プッ



▲第一部は「ハルモニウムジーク」



▲ラストは出演者が「乾杯の歌」を熱唱

チーニ作曲の歌劇「ボエーム」を6人の卒業生によるオペラ・ガラで会場を盛り上げました。



大阪音楽大学創立100周年を庄内の街が盛り上げます 「オペラな庄内」開催中!

阪急宝塚線「庄内」駅周辺のお店が大阪音楽大学創立100周年を記念してさまざまなサービスを実施する「オペラな庄内」が始まりました。これは本学で行われる演奏会を見に来られたお客さまに配布される「庄内サービスパスポート」を対象のお店へ持参するとサービスを受けることができますというもの。サービス内容は1000円お得なメニューがセットになった「オペラ



▲庄内サービスパスポート。詳しくは「オペラな庄内」で検索!

セット」をはじめ、割引などお店によってさまざま。ぜひ演奏会に足を運んで庄内の街を楽しんでみてください。



2016年度より短期大学部に開設 「マーチング」と「リベア」を学べる吹奏楽新科目スタート!

短期大学部では2016年度より「マーチング」「リベア」を学べる新科目「吹奏楽総合演習(マーチング・リベア)」がスタートします(管打楽器コースは必修、弦楽器コースは選択)。吹奏楽人口が増え続ける昨今、指導者や音楽業界への就職を希望する方にはマーチングやリベアの知識が求められてい

ます。本学では在学中の2年間にわたって、日本を代表する講師陣が直接指導。基本的な基礎知識を身につけることができます。吹奏楽総合演習は2016年度入学生より対象となります。



▲学内にはリベア用の楽器・工具なども揃っています



阪神・淡路大震災から20年 木田雅子特任准教授が「語り部コンサート」を開催

阪神・淡路大震災から20年となる1月17日(土)、木田雅子特任准教授が音楽家で本学講師の西垣俊朗さん、千賀子さん夫妻とともに神戸風月堂ホールで「神戸わが街 音楽でつなぐ思い」と題し、語り部コンサートを行いました。

「20年前のあの朝、祖母を無事に連れ出して車に乗せた後、祖母の自宅は全焼しました。その後帰宅して、足の踏み場もない自宅マンションのレスンス室の壁をのこぎりで切って、本箱の下敷きになっていたヴァイオリンを見つけた。12枚に割れていました。しかし名工の情熱と技で見事に復元。心から感謝しています。コ



▲チャリティーでCD「朝の歌」を発売予定。お問い合わせはヴェッキオボスコレーベル(ボスコミュージックで検索!) vecchio@boscomusic.comまたはプリマヴェーラprimavera_422@yahoo.co.jpまで

ンサート当日は、あの日の朝のように冷え込んだ寒い日でした。聴いてくださった方々と泣いたり笑ったり。とりわけ西垣俊朗さん、千賀子さんのお話と歌には涙が止まりませんでした(木田雅子)。



Tutti2015 喜歌劇「メリー・ウィドウ」を公演

学生だけで創り上げるオペラ公演「Tutti2015」が今年も開催されます。演目はF・レハール作曲「メリー・ウィドウ」。指揮は大学3年生の土海祐輝さん(テューバ)。今年には声楽専攻以外の学生にも積極的に加わってもらったことを心掛けたとか。大学創立100周年を意識し、伝統あるTuttiを受け継いでいこうとキャスト、スタッフ共々意気込んでいます。

チケット入手方法「Tutti2015.0510@gmail.com(制作黒川)まで連絡してください。」

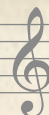


▶制作担当の黒川紗矢さん(3年・声楽)



▲2月より立ち稽古が始まりました





歴史上初の「芸術家」を自覚した作曲家

今回からは、いよいよベートーヴェンの登場。ヨーロッパでは、文化や芸術は長く造形芸術などによって主導されてきた歴史がありますが、18世紀後半になって、まさに音楽こそが主導的な芸術の役割を担うことになります。そうした変化が、モーツァルトやベートーヴェンが行った充実した活動によってもたらされたことは言うまでもありません。

とりわけベートーヴェンは、自らを王侯にも負けない高い価値ある存在、つまり「芸術家」として自覚した歴史上最初の音楽家でした。ですから彼の生み出す作品は、かつてのように職人が書いた使い捨ての消耗品のようなものではなく、まさに将来にわたって長き生命を持ち、何度も繰り返し聴くに耐えうる作品となるべきとの考えのもと、丹念に彫琢を施されたのです。その意味では彼のあらゆる作

品が、聴くに値する逸品ぞろいなのですが、ここでは断腸の思いで、その中からどうしてもと思われるものを挙げていくことにしましょう。

まず、やはり何と言っても交響曲。彼はこのジャンルで、先輩のハイドンやモーツァルトと比べて一桁も二桁も違う、たったの9曲しか書いていません。それは前述の事情のためですが、だからこそ、どの曲もかけがえのない価値を秘めています。音楽に携わる者なら、題名付きの作品だけでなく、全曲耳にしておくべき名曲です。今は全集でも実に安価でよいものが手に入ります。

ここでは、バーンスタインとウィーン・フィルによる正統的かつエネルギーあふれる演奏と、昨年亡くなったブリュッヘンがピリオド楽器による18世紀オーケストラと共演した全集を挙げておくことにしま

41 交響曲全集 バーンスタイン指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 (DG) [①: CDB24- I, CDB24- II]

42 交響曲全集 ブリュッヘン指揮 18世紀オーケストラ (デッカ) [①: CD12-32 (第1番), CD16-22 (第3番), CD176-23, CD300-38 (第9番)]

43 交響曲第5番、第7番 クライバー指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 (DG) 小学館 クラシック・プレミアム第1巻 [①: CD284-2 (第5番), CD284-17 (第7番), CDM21- II (第5、7番)]

しょう。またクライバーがウィーン・フィルを振った第5番と第7番も魂を震撼させるような名演です。現在、小学館より刊行中のクラシック・プレミアムという隔週刊のCDブックの第1巻でこの名演が取り上げられ、私が曲目解説していますので参照していただければ幸いです。

退任教員

挨拶

3月をもって退任される先生方からメッセージをいただきました

教職

学生たちとともに
音楽ができたことに感謝

喜多 忠政教授

本学で教職課程を担当する機会を与えていただき、学校現場から参りました。当初は未知なる大学のシステムへの不安があり、日々どのような授業をするかを考えていましたが、学生たちとともに歌い音楽ができることにとても幸せを感じるようになりました。特に演奏会での学生たちは生き生きと音楽に浸っており、「本当にみんな音楽が好きなんだ」と実感させられました。

ある年の卒業式後に一人の学生と交わした会話、「○○さんはいつも笑顔で楽しそうに授業を受けていましたね」と私が言う、「先生がいつもニコニコされていて、私も楽しく受けることができました」と学生に言われたことが忘れられません。私の授業を受けてくれた学生たちに感謝。お世話になりました教職員の皆さまに深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

ピアノ

「倍音」のように私を形創る
大阪音楽大学での経験

米山 信敬教授

学生の頃からおよそ半世紀、決して広いとは言えないこの庄内キャンパスが私を育てた第二の母の胎であり、精神的故郷です。

若い時代から今日まで私を育んだこの大学でのすべてのことに感謝したい。教職にあった折々に恐らく知らずに犯したであろう多くの過ちを思い返します。被害を被ったかもしれない卒業生諸君に陳謝。

音楽に関わる人なら誰もが知っている「倍音」という現象があります。人間の可聴域を遥かに超えた響きですが、確かに存在することが知られています。聴き取ることにはできないのですが、私を形創るすべての隅々にまで、この大学での経験が間違いなく「倍音」のように今も響き続けていることを感じます。この学び舎が私にとってそうであったように、今後も誇り得る場所であり続けることを願いつつ……。

サ・ヨ・ナ・ラ、皆さん、そして我が大阪音楽大学。

打楽器・吹奏楽

学生たちに育ててもらった
充実の教員人生

北野 徹教授

『新音楽、新歌劇の発生地 タランコトヲ…』永井幸次先生の建学の精神ですが、真の芸術としての吹奏楽の発生地としてアカデミックな吹奏楽を目指して授業に臨んできました。少々こうるさい教員として学生たちにとっては苦手な立場の人間だったことでしょう。

新しい作品を積極的に取り上げ、学生たちと一緒に「新しい響き」「心温まる音楽」を創り上げることができたのが私の財産。特に2011年台湾・嘉義市での世界吹奏楽大会 (WASBE) に邦人作品のみで参加し、世界中の指揮者や指導者から大絶賛を受けたことは今までの活動の証として嬉しく思うと同時に、素晴らしい演奏をしてくれた学生たちに感謝！感謝！です。

音楽家として、指導者として、何より人間として、学生たちに育ててもらったことを実感した教員人生でした。



祝! コンクール受賞

各種コンクールで受賞された皆さんの喜びの声をご紹介

第15回大阪国際音楽コンクール

連弾部門 第3位

2014年10月13日(うはらホール)

今回の本番は、自分の中で「悔いのない演奏をする」という気持ちが、いつも以上に強く表れていたように思います。未熟な部分はありませんでしたが、私たちに一生懸命、音楽と向き合い、演奏できたことに幸せを感じました。



奥出 容子 桃谷 江美
(03年・短専修・ピアノ) (04年・大卒・ピアノ)

「合わせる」ことにとらわれず、お互いが表現の方向性をより近づけることで、音楽がまとまってきたように感じます。まだまだ自分たちの中では反省点などありますが、今回3位をいただき、大変嬉しく思っています。

第6回東京国際音楽コンクール本選

新進声楽家部門 第2位

2014年10月13日(東京ドイツ文化センター)

台風の影響や、慣れない東京の地で万全とは言えない状態の中、第2位という賞をいただき、とても嬉しく思います。いつもお世話になってる伴奏者の川邊さんと荒田先生には、いくら感謝してもし尽くせません。



梨谷 桃子
(14年・大卒・声楽)

第2回国際アルケマ作曲コンテスト

第1位(ヘンク・アルケマ賞)

2014年10月26日(マッチングアーツ)

国際作曲賞で第1位を獲得することは私の長年の目標の一つでありました。それを達成できたことをとても喜んでます。音楽家としてのさらなる飛躍を求め、今後も研究および創作に邁進したいと考える次第です。



松浦 伸吾
(03年・院修・作曲)

第2回いかるが音楽コンクール2014本選会

ピアノ音楽大学生部門 第1位

2014年11月23日(いかるがホール)

賞をいただけたことは大変嬉しかったです。しかし振り返ると、ミスや表現しきれなかった箇所など反省点も多い演奏になってしまいました。今後はこういったことをなくし、自分自身が納得のいく演奏をしていきたいと思っています。



杉本 太雅
(大3・ピアノ)

第5回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 全国大会

特別コース 特級部門 銀賞

2014年12月7日(東京FMホール)

初めての特級(年齢無制限)部門での参加でした。東京での表彰式を終えて母に報告すると、電話の向こうで涙を流して喜んでくれました。それが何より嬉しかったです。感謝の気持ちを忘れずに一歩ずつ前進していきたいです。



南 優希
(大1・ピアノ)

クオリア音楽フェスティバル第5回オーディション

大学生部門弦楽器の部 第1位

2014年12月23日(茨木市クリエイティブセンターホール)

このような賞をいただき、大変嬉しく思っています。コンクールの経験はほとんどなく緊張の連続でしたが、新たな課題も見つけることができました。今回の経験を糧に、さらに精進し演奏を磨いていきたいと思っています。



三浦 裕梨香
(大4・ヴァイオリン)

全日本芸術コンクール 第2回芸術フェスティバル全国大会

ピアノ部門音大生・一般部門 第1位

2014年12月24日(府中の森芸術劇場ウィーンホール)

このような結果を残すことができ、大変光栄に思います。また今回、全日本芸術協会主催でソリサイタルを開催していただけることになり、嬉しい気持ちでいっぱいです。今後も仕事と両立させながら、演奏活動が続けていきたいです。



大谷 知美
(13年・大専修・ピアノ)

第8回ベーテン音楽コンクール全国大会

自由曲コースピアノ部門大学・院生Aの部 第2位

2015年1月6日(東京文化会館小ホール)

“どうすれば想いが届く演奏になるのか”この4年間ずっと自問自答しながら取り組んできました。今回、このような評価していただき大変嬉しく思います。これまでご指導くださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



池田 佑香
(大4・ピアノ)

NEWリリース 大音関係者がリリースしたCD・本・楽譜などをご紹介

新刊



藤井 敬吾 編曲(講師)
ギター二重奏のための展覧会の絵
(DVD付き)(演奏:デュー・ウエダ)
2500円(税抜)
現代ギター社
全国の書店、amazon 他

新刊



平山 るみ 共著(准教授)
ワードマップ 批判的思考:21世紀を生きぬく
リテラシーの基盤(楠見 孝・道田泰司 編)
2600円(税抜)
新曜社
全国の書店、amazon 他

CD



福代 永子(80年大専修)
maman
2000円(税抜)
販売・問い合わせ tamango818@yahoo.co.jp

私 が「展覧会の絵」に初めて大きな感動を受けたのはホロヴィッツのピアノ演奏でした。一つの楽器から繰り広げられる多様な色彩感に子どもの頃の私は心を奪われてしまいました。ラヴェルの管弦楽編も素晴らしいのですが、同じ楽器で多彩な表現をするという点ではギター二重奏はピアノ独奏に近いものがあるかもしれません。

批 判的思考は、相手を非難することではなく、証拠に基づき論理的に考えること、自分の考えに誤りや偏りがないか内省することなどであり、現代社会で必要な情報を適切に読み解き活用する力の基盤となるものです。本書はキーワード仕立てで、批判的思考の基礎から学校教育での教授法、この思考を生かせる社会的場面まで幅広く解説しています。

娘 でフルート奏者の福代珠美とミュージカルコース助手の藤井いつみの3枚目のアルバム。前半は中田喜直作曲による「母」の曲で、後半は童謡や歌謡、オペラに登場する「母」の曲を収録。今からママになる方へ、そして母を慕う方への愛情と感謝にあふれた1枚に仕上がりました。ぜひお聴きください。

学内の各部門・施設から、役立つ情報をお届けします。

キャリア支援センター

卒業後にも活用ください！

大学HPに求人票検索システムがあるのをご存知ですか？「地域」「業種」「職種」などを選ぶと、条件に合った求人情報を検索することができるシステムです。在学生はもちろん、卒業生も利用いただけます。卒業後の閲覧にはIDとパスワードが必要です。キャリア支援センターへお問い合わせください（電話：06-6334-2251）。また卒業後にコンクールに入賞された方や住所・氏名が変更になった方もキャリア支援センターにお知らせください。コンクール受賞については学内に掲示し、3位までに入賞された方は『Muse』にも掲載いたします。



▲大学HP内の「求人票検索」サイト。「トップ」→「キャリア支援」→「就職について」をご覧ください

学生支援センター

将来の仕事に役立つ科目を体系的に学ぼう

「副専攻制度」をご存知ですか？指定された科目を体系的に履修することで「音楽マネジメント」「音楽療法」「音楽指導者」「音楽研究」の4つの分野から1つを卒業時に副専攻修了として認定する制度です（大学の）。対象科目の中から合計12単位以上を「良」以上の成績で修得することが認定の条件です。修了認定対象となるためには3年開始時の決められた期間中に申請が必要です。詳しくは教務担当の江見までお尋ねください。なお、新大学2年生については3月27日（金）10:00～B号館104教室でガイダンスを行います。希望者は直接教室へお越しください。



▲教務担当 江見 カ

新大学3年生の2015年度の申請期間は4月6日～18日です。お忘れなく！

入試センター

6月7日に「吹奏楽フェスティバル2015」開催決定！！

毎年ご好評いただいております、吹奏楽フェスティバルを今年も開催いたします。前回に引き続き、吹奏楽コンクール課題曲の全曲演奏（解説付き）、作曲家による課題曲徹底分析、さらに初心者を対象に楽器別公開レッスンを開講いたします。課題曲Vについては、作曲者である本学卒業生の朴守賢さんが解説および分析をいたします。そのほか吹奏楽部員に役立つ「特別公開講座」や「選抜学生コンサート」など、吹奏楽に特化した催しを数多くご用意しております。詳しくは大学HPの吹奏楽フェスティバル特設ページをご覧ください。



▲昨年の開催時の様子

連携支援センター

「豊中音楽コンクール」出場者募集！

「音楽あふれるまち」を推進する豊中市は「豊中音楽コンクール」を創設します。受賞者は11月7日（土）にザ・カレッジ・オペラハウスで開催される「受賞者記念コンサート」に出演することができます。開催日：予選5月30日（土）／本選5月31日（日）会場：ミレニアムホール、F.O号館（予選）ザ・カレッジ・オペラハウス（本選）部門：高校の部、大学・一般の部それぞれにおいてピアノ部門、声楽部門、管弦打楽器部門参加料：高校生の部3000円、大学・一般の部5000円申込期間：4月1日（水）～4月30日（木）



▲本選会場はザ・カレッジ・オペラハウス

お問い合わせ▶06-6858-2503（豊中市役所文化芸術室）

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

「ミミにいいひ」はオーケストラを聴こう！「オーケストラの日2015」開催

ミミにいちばん、ミミにいいひ！3月31日はオーケストラの日！恒例となりました「オーケストラの日2015」コンサートを今年も行います。弦楽アンサンブル、木管五重奏による演奏、そしてオーケストラによるエルガー作曲「愛のあいさつ」やアンダーソン作曲「タイプライター」など、どなたでも楽しめるプログラムをご用意しています。3月31日はオーケストラを楽しんでみませんか？ぜひご来場ください。



▲昨年の開催時の様子

開催日時：3月31日（火）16:00開演（15:30開場）会場：すてっぷホール（阪急宝塚線豊中駅下車 エトレ豊中5階）チケット：500円（全席自由）チケット取扱い場所：豊中市役所文化芸術室（第1庁舎5階）平日9:00～17:00／アクア文化ホール（曽根東町3-7-3）休館日を除く9:00～17:00お問い合わせ：06-6858-2717（豊中市役所文化芸術室）

付属音楽幼稚園

「たのしみまショー」を開催

2月28日（土）、ザ・カレッジ・オペラハウスで「たのしみまショー」を開催。劇遊びを中心に、「くみ割り人形」や「セロ弾きのゴーシュ」など多彩な演目をクラスごとに発表しました。園児たちは工夫を凝らした衣装に身をつつみ、セリフに歌に大活躍。のびのびと演じる子どもたちの姿に、保護者からも大きな拍手がわき起こりました。なお、3月19日（木）には89人の年長児が卒園します。



▲ステージいっぱい元気なかけまわる園児たち

付属音楽院

卒業しても音楽と出会える大音！

「子どもも大きくなったので、また音楽を始めたいな」「音楽を習わせるならやっぱり大音」「大音を志望大学に」。そんな方々にぴったりなのが、大音の音楽教室「大阪音楽大学付属音楽院」。付属機関ならではのコンサートをはじめ、練習室利用、所蔵資料の閲覧・視聴などの他にも音楽院会員特典が充実。受験生向けに進学コースもご用意しています。なんといっても大音の教授や講師に習えることが大変魅力的です。さまざまな「やってみよう」「もう一度」にお応えします！お問合せ・資料請求は 06-6334-2909 www.ongakuin.jp



▲大人も子どもも大音で音楽しませんか？

演奏会やオペラなど、大音関連の魅力的なイベントを紹介します。

演奏会 Information



3月 6月

●=出演者 ●=場所 ●=入場料 ●=問い合わせ先 ※必ず主催者発表のものと照合しご確認ください。

OH=ザ・カレッジ・オペラハウス MH=ミレニアムホール

大阪音楽大学主催公演

大阪音楽大学 2014年度卒業演奏会

(第一夜) 3/16(月)18:00 ~
(第二夜) 3/17(火)18:00 ~
●2014年度成績優秀者による演奏会 ●OH
●無料(要整理券)

大阪音楽大学短期大学部 ミュージカルコース第4回試演会

3/21(土・祝)A班13:00 ~ B班17:00 ~
●ミュージカルコース在学生
●豊中市立アーク文化ホール
●無料(要整理券)※豊中市と共催

オーケストラの日2015 3/31(火)16:00 ~

●ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団、北野智子
●すてっぷホール ●500円
●お問い合わせは豊中市役所文化芸術室
☎06-6858-2717

第1回ミレニアムピアノコンサート 5/19(火)17:15 ~

●青井 彰、小川 裕子 ●MH ●無料

第44回ミレニアム・スチューデント・コンサート

5/25(月)、27日(水)、28日(木)18:00 ~
●MH ●無料(要整理券)

2014年度大阪音楽大学音楽学部 最優秀賞受賞者演奏会

第12回ザ・ローレル・コンサート
5/29(金)18:00 ~ ●OH ●1000円

第2回ミレニアムピアノコンサート

6/4(木)17:15 ~ ●木村 直美、小出 ひろみ、
鳥居 知行 ●MH ●無料

第45回ミレニアム・スチューデント・コンサート

6/15(月)、18日(木)、19日(金)18:00 ~
●MH ●無料(要整理券)

※日程など変更になる場合もあります。

お問い合わせ 大阪音楽大学コンサート・センター
TEL:06-6334-2242 http://daion.ac.jp

大阪音楽大学後援演奏会

第7回フルートアンサンブル

SAKURA ジェンズ定期演奏会 4/9(木)18:30 ~
●平岡 洋子、斎藤 浩、恩地 孝幸 他
●兵庫県立芸術文化センター小ホール
●2500円(当日3000円) ☎090-8197-3035(平岡)

オペラ物知り講座inひこねVol.8「メリー・ウィドウ」

4/12(日)14:00 ~ ●講師:中村 敬一 他
●ひこね市文化プラザエコホール
●2000円(当日2500円)、限定100組ペア前売3500円
☎0748-42-6905(飯川)

弦の調べにこよせて 4/18(土)19:00 ~

●松田 淳一、橋本 桂子、常田 富士男、辻村 ゆず、
日野 俊介 ●大阪倶楽部4F大ホール

●3000円 ●080-1413-4819(松田)

Schumannabend ~シューマン歌曲の夕べ~

5/1(金)19:00 ~
●高津 綾子、新屋 良太、小上 多衣子
●カワイ梅田店 コンサートサロン「ジュエ」 ●2500円
☎090-3925-1818(高津)、090-6055-6379(藤川)

大阪音楽大学大学院歌曲研究室修了生有志による

「Dankbarkeit Konzert」~創立100周年に寄せて~

5/6(水・祝)13:30 ~
●堅田 京子、中村 展子、氏家 美紀、藤澤 敦子、
福島 左記 他 ●ザ・フェニックスホール
●3000円 ●078-219-4613(坪田)

にっぽんの歌 第四回 5/6(水・祝)14:00 ~

●田邊 織恵、橋本 恵史、小林 映介
●鳥取県とりぎん文化会館小ホール
●一般2000円、高校生以下1000円(当日各500円増)
☎080-1916-5341(21の会 山根)

大阪音楽大学創立100周年記念 第16回幸楽コンサート

5/17(日)16:00 ~ ●あわぎんホール
●1000円 ●090-8979-0582(幸楽会徳島支部)

西本淳サクソフォンリサイタル 5/20(水)19:00 ~

●西本 淳、佐竹 裕介、太田 真紀
●兵庫県立芸術文化センター小ホール
●一般3000円、学生2000円
☎0797-23-5996(KONTA Inc.)

CD発売記念 緒屋 謙&亜美ギター・ジョイントリサイタル

6/5(金)19:00 ~ ●ザ・フェニックスホール
●3500円 ☎03-3501-5638(ミリオンコンサート協会)

二星美紀 諏訪部匡 ジョイントコンサートVol.3

6/13(土)14:00 ~
●米子コンベンションセンター小ホール
●一般2000円(当日2500円)、小・中学生500円
☎090-9706-7522(諏訪部)

学生自主演奏会

オペラ研究部新入生歓迎演奏会

「コジ・ファン・トゥッテ」
4/24(金)17:30 ~ ●MH ●無料
☎kingdededefall@yahoo.co.jp

Message オペラ研究部は総勢16名という少ない人数ではありますが、一つの作品を完成させるべく熱心に活動しています。まだまだ至らない部分がたくさんありますが、精一杯頑張ります！ 皆さまの応援を心よりお待ちしております！

幸楽会後援演奏会

町家deオペラ 3/25(水) 18:30 ~

●重松 みか、片桐 直樹、藤井 理紗 他
●ちおん舎 ●3500円 ●090-9871-4961(小泉)

musica festa PartⅢ

2台のピアノのための協奏曲の夕べ

3/25(水) 19:00 ~

●吉野 那月、高 果奈、高崎 展好、松本 幸子 他
指揮:守山 俊吾、管弦楽:関西フィルハーモニー管弦楽団
●ザ・シンフォニーホール
●小・中・高校生2000円、大学生・一般4000円
☎06-6367-1773(マック株式会社)

音楽de世界旅行 3/27(金) 13:30 ~

●勝本 安輝子、木網 有紀子
●郷の音ホールアクトスクエア
●無料 ●090-5042-5966(勝本)

花さかパロック 4/10(金) 13:00 ~

●進一 一美、赤坂 放笛、前田 肇、吉竹 百合子
●Garden Café 楽-RAKU-
●2500円(当日3000円) ☎090-8147-4861(そう楽舎)

春木 浩子ハープリサイタル

4/10(金) 19:00 ~
●春木 浩子、森本 英希、中島 悦子
●ザ・フェニックスホール
●3000円(当日3500円)
☎0798-69-3301(フェリーチェ音楽院)

川尻 淳ピアノリサイタル 4/17(金) 19:00 ~

●宝塚ベガ・ホール ●2000円
☎080-3839-1770

ラ・リュミエールコンサート

4/19(日) 13:30 ~
●三枝 純子、竹川 麻由美、芹生 美里、丸岡 良子、
中條 裕子、手塚 純子 他
●兵庫県立三木山森林公園音楽ホール
●無料 ☎0794-87-1540(芹生)

アンサンブル湖との葉コンサート ゆく春に...

4/19(日) 14:00 ~ ●山本 久代、北島 都也、小林 美智
●びわ湖ホール小ホール ●3000円
☎090-2282-9880(北島)

池田純子&安積京子ピアノデュオ・リサイタル

5/3(日・祝) 15:00 ~
●ムラツリサイタルホール新大阪 ●3000円
☎06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

第二回オペラ・アンダンテ公演

歌劇コジ・ファン・トゥッテ~ハイライト~

5/8(金) 18:30 ~
●指揮:金井 誠 演出:岩田 達宗
白石優子、伊藤 絵美、中野 綾 他
●阪急うめだホール ●4500円
☎opera.andante2014@gmail.com(中野)

初夏を彩るパロック音楽

~サロンで楽しむパロック音楽Vol.3

リコーダー×ヴィオラ・ダ・ガンバ
6/27(土) 14:00 ~ ●水越 美鈴、西村 喜子
●EBIS Garden&House内2Fホール
●一般2500円(当日3000円)、学生1000円
☎090-3895-9026(フルートドルチェ)

「ON-AR」でMuseオリジナル動画を見よう！



スマートフォンに「ON-AR」の付いた写真にかざすと動画を見ることができます。アプリ(無料)をダウンロードして、今号は次の6つの動画を見てみよう！

- 巻頭「創立100周年によせて」連動企画「動画で見る大音の100年」(P2 ~ 3)
- 特集連動企画「ミュージッククリエーション専攻」座談会 & コメント (P6 ~ 7)
- 特集連動企画「ミュージックコミュニケーション専攻」コメント (P8 ~ 9)
- Muse de Concert「邦楽演奏会」(MH) 11/28(金) (P10)
- Muse de Concert「定期演奏会」(ザ・シンフォニーホール) 12/5(金) (P10)
- Muse de Concert「ダンスパフォーマンスコース」発表会
(豊中市立ローズ文化ホール) 2/14(土) (P10)

まずはアプリ(無料)をダウンロード！

Google play



iTunes App Store



編集後記

次号は6月15日発行予定です

いよいよ迎えた創立100周年。今号のスマホをかざして見る「AR動画」では、100周年を記念したMuseオリジナル動画を作成しました。また、2016年度よりスタートする2つの新専攻の指導陣からのメッセージや演奏会の模様など見どころいっぱい。「動くMuse」(上記参照)もぜひご覧ください。(は)

最新情報を配信中！

こちらのSNS配信サービスからも大音情報をチェックできます。



@ocm_t

@daion

iTunes App Store

Google play

学校法人 大阪音楽大学広報誌「Muse」

vol.233 2015年3月16日発行

- 発行:学校法人 大阪音楽大学 〒561-8555
豊中市庄内幸町1-1-8 TEL:06-6334-2904
FAX:06-6334-2141 http://daion.ac.jp
- 制作・編集:広報室 muse@daion.ac.jp
- デザイン協力:(株)産業編集センター

ホモ・サピエンスとは 「知性ある人」という意味です

Podio Muts

文・イラスト 武藤 好男

社会全体が不機嫌になっているような印象があります。いじめ、逆切れ、クレマーなど深く考えもせず、感情を爆発させる行動の裏には、「誰かがうまく立ち回っている」という妄想があるのではないのでしょうか。誰もが自分が損をしていると考え、自分が満たされないのは誰かのせいにするというゲーム、そしてさらにその裏には「もっと私をかまって」という承認への欲求があり、そこでは知性ははたらかしません。理性的な説得は無効で、こういう行動をする人たちに意味があるのは、自らの主張の真偽ではなく、それが快感をもたらしてくれるかどうかです。他人ごとではありません。私たち一人ひとりが、そのような衝動と欲求不満をかかえて不穏な行動をとる可能性を秘めています。

どうしてこんなことになったのでしょうか。もちろん、先行き不透明な経済状況や是正されるどころかますます広がる格差社会といった事情もあるでしょうが、未来なんて誰にも見通せないし、かつての階級社会では、生まれで人生が決まるのが当たり前でした。一人として同じ人間がいない以上、持って生まれた才能や才覚が違うのは当たり前、個性と言ってもいいその違いを否定する人はいないと思います。たとえ同じインプットをしても、アウトプットされるものは人によってさまざまです。学校ではそれが成績になって表れます。で

も私のように大した成績が取れなかった人間も、何とか生きていける、そうでなければ人生ちっともおもしろくありません。その意味で、人を単一の基準で評価するのは間違っています。

とはいえ、誰もが何となく不機嫌な社会が出現した原因の一つは、情報化が進み、考えているつもりが機械的作業になってしまっていることにあるのではないのでしょうか。マニュアル化が進み、どんどん人は考えなくなっています。マニュアル通りに行動しないことで事故が起こったとき、責任を問われます。逆にマニュアル通り行動している限り事故に対する責任は回避できます。考えないのが正解って、どこおかしくないですか。このままいくとマニュアルがないと何もできない人間ばかりになり、社会は停滞します。要は人の気持ちが理解できない人間が増え、自己愛だけが肥大していく。その原因は人間が知性に対する信頼を失ったからではないか、そんな人間性への危機を無意識に感じ取り、人々是不機嫌になっているのではないか。でも、それを変えられるのは私たち一人ひとりでです。



五線の上に並ぶ音符を眺めるだけで幸せ 根っからの「楽譜好き」です

ジャズ・講師 藤井 司朗

教員
リレー
エッセイ
Vol.15

ふじい しろろ ●大阪音楽大学音楽学部器楽学科管楽器専攻(トロンボーン)卒。在学中に出会ったサークルの影響でジャズに興味を持ち、卒業後本格的にジャズの修行に取り組む。短期大学部ジャズ・クラス開設と同時に教育助手、現在は専任講師として務める。

今回は
大音時代の同級生
晴 雅彦先生(声楽)
をお願いします



音 楽大学の教員が今さら何と
と思われるでしょうが、「楽譜が好き♡」です。ことにオーケストラのフルスコアなどはたまりません。楽譜を読み込んで音楽を理解するなどという高尚な話ではなく、五線の上に整然と音符が並んでいるのを眺めているだけで美しいと思ってしまうのです(絵画やイラストを鑑賞しているような気分)。

なりまし
た。私が「楽譜好き」になったきっかけは、原点がここにあります。以来、興味を持った曲のスコアを自身で購入し続けています。もう何冊あるのか数える気力もありません。また、漠然と理系の大学へ進学するのだからという思いから180度方向転換し、音楽大学へ進学することにもなりました。

クラシックの音楽家になることを夢見て大阪音楽大学へ入学した私ですが、なぜか今はジャズ担当の教員。仕事柄ビッグ・バンドと呼ばれる大編成のジャズ・バンドのスコアと戯れる日々が続きます(大手出版社の楽譜には浄書ミスによる音の誤りが意外と多い)。楽譜がパソコン浄書されるようになり、心なしかかつての楽譜にあった品のようなのものが失われつつある気がして、すこし心ざびしい今日この頃です。



所有楽譜の一部。
「まだまだあります!!」